



令和元年度東京税関成田地区密輸出入取締対策協議会

令和元年11月27日（水）、東京税関成田税関支署において、「令和元年度東京税関成田地区密輸出入取締対策協議会」を開催する。

本協議会においては、深刻な社会問題となっている不正薬物等の密輸事犯について、関係取締機関との情報交換及び取締強化のための協議を行う。

1. 参加機関

千葉地方検察庁、千葉県警察本部、千葉県成田国際空港警察署、法務省東京出入国在留管理局成田支局、厚生労働省関東信越厚生局麻薬取締部、内閣官房空港・港湾水際危機管理チーム、横浜税関千葉税関支署、東京税関（8機関 43名）

2. 最近の密輸情勢等（成田国際空港密輸概況【平成31年1月～令和元年10月】）

(1) 覚醒剤密輸の動向

成田税関支署において摘発した覚醒剤密輸入事件は、133件、押収量は、約272キログラムであり、既に現時点で成田空港開港以来、摘発件数及び押収量共に過去最高となっている。

(2) 大麻

大麻密輸入事件は、摘発件数が10件であり、前年同期比で前年並みであったが、押収量については約12キロと前年同期比で3倍以上となる押収量であった。

(3) 麻薬類

麻薬密輸入事件は、摘発件数13件、押収量約22キログラムと2万7千錠であり、前年同期比で件数、押収量とも増加し、その中でもコカインは、6件、押収量約22キロであり、MDMAは、3件、押収量約2万7千錠と麻薬事犯全体の大部分を占めており、大幅に増加した。

(4) 金地金等密輸への対応

社会問題化している金地金等の密輸に関しては、航空貨物による金地金829キログラムの密輸入事件を告発した。

金地金等の密輸入事件は、摘発件数16件、押収量約38キログラムと、前年同期比で件数、押収量とも減少したが、依然として密輸が敢行されており、厳格な取締りに取り組んでいる。

(参考)

令和元年（平成31年）（1月から10月）：	16件／約38kg
平成30年（1月～10月）：	218件／約320kg
平成29年（1月～10月）：	353件／約1,493kg